

4.3 水鳥類調査方法

(1) 調査時期

春の渡り期調査は毎年主に4月下旬から5月中旬に、秋の渡り期調査は毎年主に7月から8月に、越冬期調査は毎年主に1月に実施した。

表 4-3 水鳥類調査の実施日

調査時期	調査日
春の渡り期	4月下旬～5月中旬
秋の渡り期	7月～8月
越冬期	1月～2月

(2) 調査方法

定位記録法により、調査範囲の水鳥類について全数カウントを行った。定位記録法は、展望の開けた場所に調査地点を設置し、双眼鏡や望遠鏡を用いて一定時間内かつ一定範囲内に出現する全ての水鳥類の種名、確認個体数、行動（採食・休息等）、利用環境、位置などを記録する方法である。調査地点から見えにくい地域がある場合は、適宜移動するなどして記録漏れがないように調査を行った。

各季の調査は1日間ずつとし、各調査は干潮時、半干出時、満潮時に1回ずつの計3回、水鳥類の定位記録法による全数カウントを行った。

全数カウントの調査時間は、干潮時30分間、半干出時30分間、満潮時30分間とした。

このほか、任意調査として、全数カウントの調査時間以外に全数カウントで確認されなかった水鳥類や、陸鳥が確認された場合にも、これらの鳥類の種名を記録した。

(3) 調査範囲

水鳥類の調査範囲を図 4-5 に示す。春の渡り期と秋の渡り期の調査地点は右岸（st. B1）、左岸（st. B2）の2地点とし、越冬期の調査地点は右岸（st. B1）、左岸（st. B2）の2地点の他、カモ類を主対象として調査範囲を市川大橋まで拡大し、右岸（st. B3）、左岸（st. B4）を追加して計4地点とした。

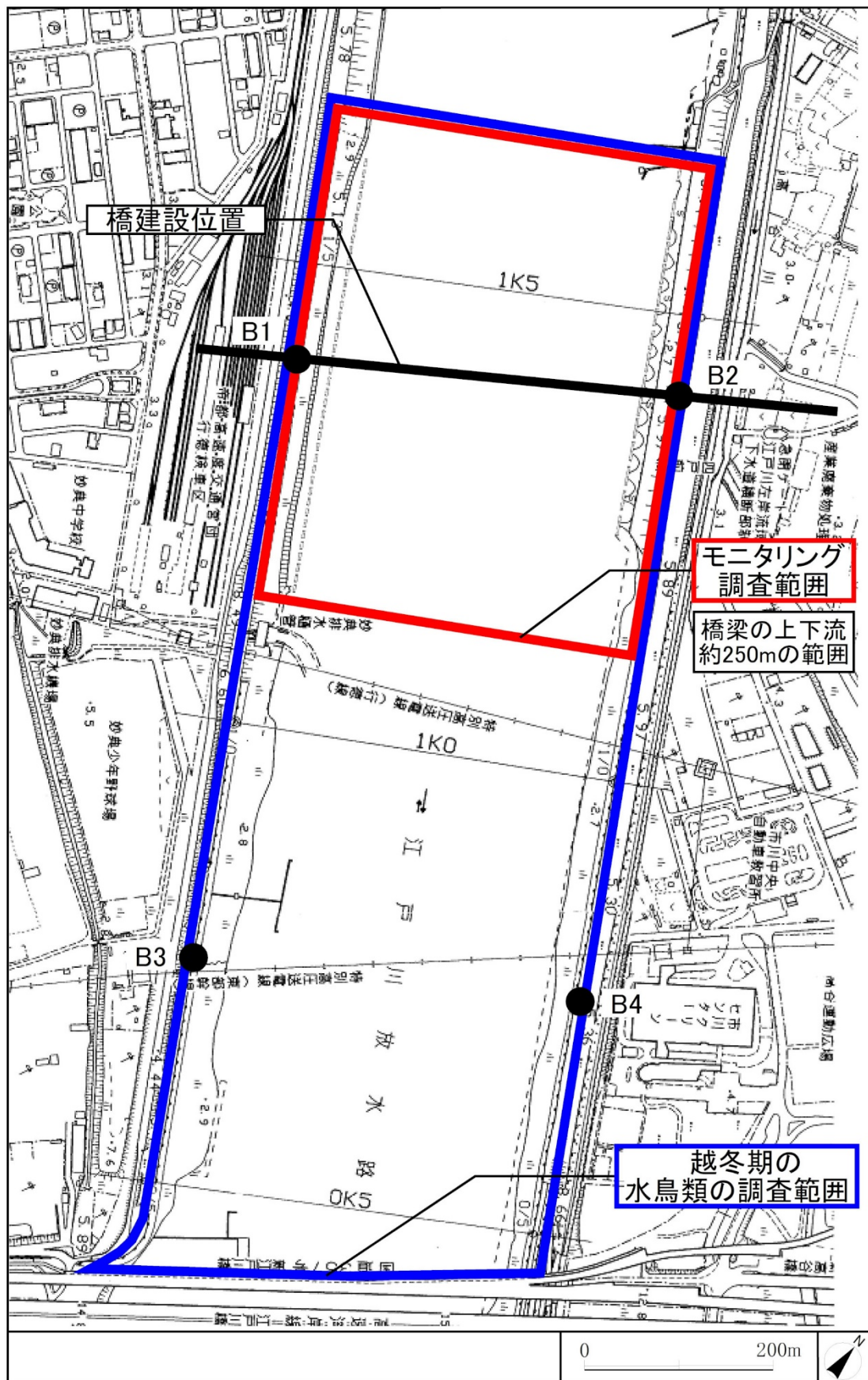


図 4-5 水鳥類の調査範囲